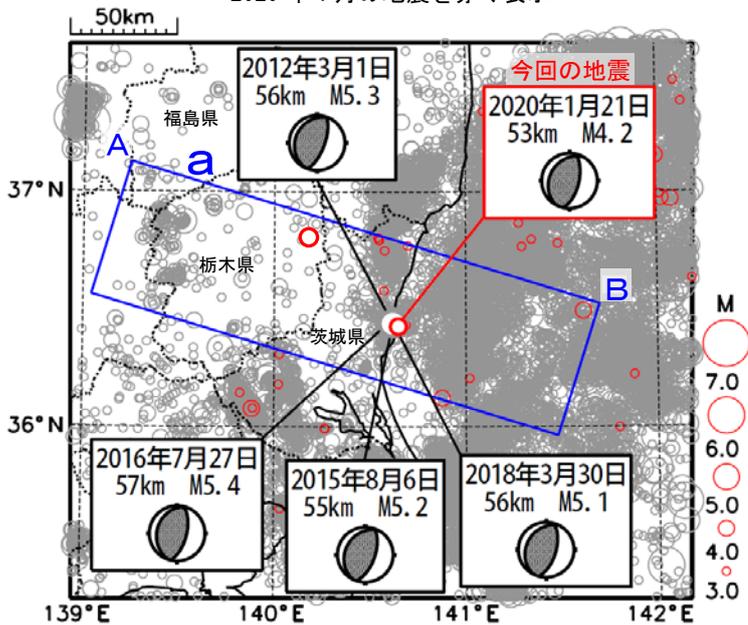


1月21日 茨城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2020年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2020年1月の地震を赤く表示

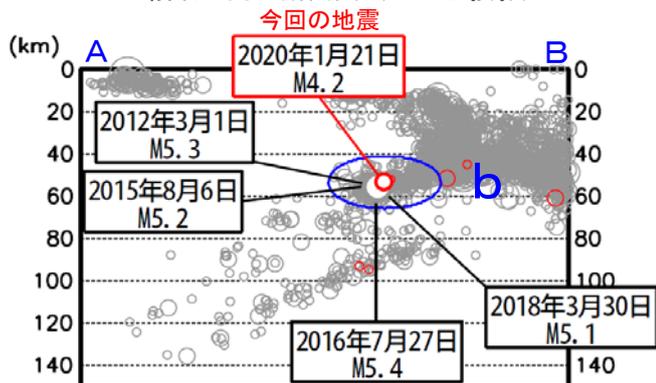


2020年1月21日13時25分に茨城県沖の深さ53kmでM4.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震は発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

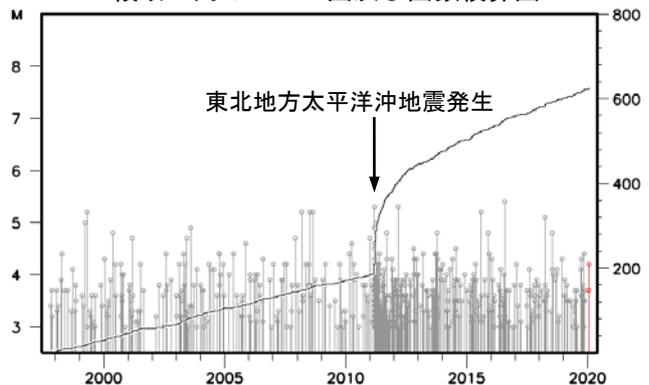
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、M5.0以上の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震（最大震度5弱）、2016年7月27日にはM5.4の地震（最大震度5弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域c）では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震（最大震度5）では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

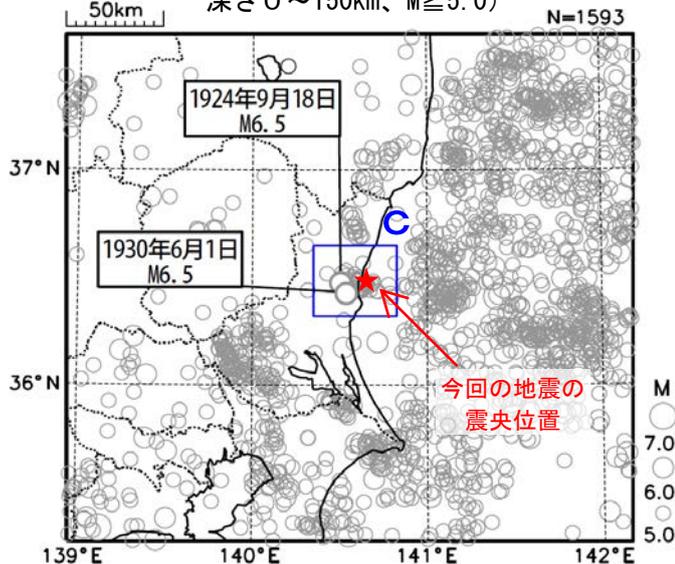
領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2020年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

